



でぐち
出口



(1階)



でぐち かい
出口は、1階に あります。

た
コインロッカーやかさ立てに、

ば あい わす も かえ
カバンやかさを あずけている場合は、忘れないで持ち帰ります。

ぶんがくかん たの
文学館を楽しむ



ぶんがくかん いちにちじゅう ひと
文学館に 一日中いる人もいれば、

みじか じかん す ひと
短い時間を過ごす人も います。

ひとり
また、一人で ひとつのものをじっくりと見る人も、

いっしょ
だれかと一緒に ものを見て、感じたことを伝え合う人も います。

たの かた ひと
楽しみ方は、人それぞれです。

たいせつ
大切なのは、わたしのペースで

ぶんがくかん じかん たの
文学館での時間を 楽しむことです。

Social Storyとは？

「Social Story (ソーシャルストーリー)」とは、主に発達障害 (神経発達症) の方と

その家族や関係者をサポートする 社会学習ツールです。社会的な状況や行為などを、

絵や写真を使い、やさしい文章で 説明します。当事者と関係者とが、

そのときの状況や 活動内容などの情報を 互いに理解し、安心できる状態をつくることを

目的としています。

高知県立文学館では、発達障害の方をはじめ、文学館をはじめて訪問する方、

利用に不安を感じる方などが、どなたでも 高知県立文学館を楽しみながら

過ごすことができるよう、当事者や 医療関係の専門家をはじめ、独立行政法人国立美術館

国立アートリサーチセンターの 協力を得ながら、このストーリーを作成しました。

ストーリーでは、写真や文章で 入館から退館までの様子が 説明されています。

建物の内外でのルールを 事前に知ることで、見通しを持って、

安心して過ごす手助けとなるように 構成しています。

高知県立文学館のウェブサイトで、ソーシャルストーリーのデータを公開しているので、

訪問前にお使いください。ご来館をお待ちしています。



ウェブサイト <https://www.kochi-bungaku.com>

Social Story はじめて 文学館に いきます。

高知県立文学館

編集

高知県立文学館

監修・制作協力

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

デザイン

スタビーデザイン

写真

真

よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

高知県立文学館

発行日

2026年3月27日

発行

行

よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

高知県立文学館





高 知 県 立
文 学 館

この Social Story は、国立アトリサーチセンター提供によるデザイン・フォーマットを元に制作されました。
Copyright © 2025 Kochi Literary Museum, National Center for Art Research, Japan

